

11 検診

生活習慣病といわれるがん、心臓病、脳卒中等は、中高年層に多発しており、これらの疾病による死亡者数は、総死亡者数の半数以上を占めています。

そこで、生活習慣病をはじめとする中高年からの総合的な保健対策として、がん検診及び健康増進法に基づく健康診査等を実施しました。

1 がん検診

がんは死亡原因の第1位を占めていますが、がんを早期発見し、早期治療の促進を図ることを目的に、各種がん検診を福祉保健センター、医療機関、検診車、市民病院がん検診センターの各施設で実施しています。

平成20年度の受診者数は、前年度と比較して、胃がん検診が8.4%の増加、肺がん検診が10.0%の増加、子宮がん検診が4.4%の減少、乳がん検診が19.5%の増加、大腸がん検診が0.2%の減少、PSA検査（前立腺）が0.5%の増加となりました。

各種がん検診の内容

検診項目	実施機関及び実施場所	対象年齢	受診回数
胃がん検診	検診車 実施医療機関（約490）（注1）	40歳～	年1回
肺がん検診	各福祉保健センター 市民病院がん検診センター（注2）	40歳～	年1回
子宮がん検診	実施医療機関（約180）	20歳～	2年に1回
乳がん検診	実施医療機関（約330）	40歳～	2年に1回
大腸がん検診	実施医療機関（約850）	40歳～	年1回
PSA検査 （前立腺）	実施医療機関（約1170）	50歳～	年1回

注1 平成21年3月31日現在の実施医療機関数

注2 市民病院がん検診センターは、上記がん検診に加えて、喉頭がん検診、肝・胆・膵がん検診、前立腺がん検診、卵巣がん検診を実施しました。

がん検診受診者数

		平成18年度			平成19年度			平成20年度
		受診者数	要精検数	発見者数	受診者数	要精検数	発見者数	受診者数
胃がん	医療機関	46,079	3,243	75	43,332	3,015	64	46,913
	検診車	7,911	1,084	22	7,905	873	26	8,606
	計	53,990	4,327	97	51,237	3,888	90	55,519
肺がん	医療機関	—	—	—	—	—	—	828
	福祉保健センター	7,274	1,079	11	7,853	1,030	16	7,974
	がん検診センター	3,435	413	3	3,434	442	5	3,617
	計	10,709	1,492	14	11,287	1,472	21	12,419
子宮がん	計	58,811	1,074	64	76,492	1,259	72	73,096
乳がん	検診車	—	—	—	1,033	—	—	1,885
	医療機関	24,355	2,252	100	29,019	2,468	131	34,027
	計	24,355	2,252	100	30,052	2,468	131	35,912
大腸がん	計	86,276	4,945	304	89,690	5,469	297	89,484
PSA検査 （前立腺）	計	33,453	—	—	34,388	—	—	34,554
合計		267,594	14,090	579	293,146	14,556	611	300,984

- * 平成 20 年度の要精密検査者及び発見者数は追跡調査により集計中
- * 乳がん検診の検診車は平成 19 年度からマンモグラフィ搭載車を運行

2 健康診査

糖尿病等の生活習慣病を予防する対策の一つとして、後期高齢者医療制度被保険者の市民および 40 歳以上の生活保護受給者の方等を対象に、病院・診療所（約 1,200 の医療機関）で健康診査を実施しました。

健康診査の内容

実施機関及び実施場所	対象年齢	受診回数
実施医療機関（約 1,200）	後期高齢者医療制度被保険者の方 および 40 歳以上の生活保護受給者の方等	年 1 回

健康診査の受診者数

平成 20 年度	29,319 人
----------	----------

- * 平成 20 年度より開始

3 C 型肝炎ウイルス等検査

肝炎ウイルスの感染者を早期に発見し、肝炎による健康被害を回避、軽減することを目的とし、がん検診、健康診査等の実施に併せて、過去に肝炎ウイルス検査を受診していない方を対象に C 型・B 型肝炎ウイルス検査を実施しました。

C 型肝炎ウイルス等検査の内容

実施機関及び実施場所	対象年齢	受診回数
実施医療機関（約 1,150）	40 歳～	1 回限り

C 型肝炎ウイルス等検査の受診者数

平成 18 年度	6,134 人
平成 19 年度	9,274 人
平成 20 年度	3,371 人